

平成24年11月8日

高齢者の交通事故の現状



夜間の運転、外出は危険がいっぱい！

- ドライバーの皆さんは
夜間の運転はスピードを控えめにして、ライトのきめ細かな切り替えをお願いします。
- 歩行者の皆さんは
夜間外出する際は、明るい服装と懐中電灯の携行や反射材の着用をお願いします。

宮崎県警察本部
交通部交通企画課

1 高齢運転者の交通事故の現状(平成24年9月末現在)

県下の平成24年9月末現在の高齢運転者の交通事故は、

発生 1,398件(前年比-82件)

死者 12人(前年比+5人)

負傷者 1,659人(前年比-100人)

となっており、高齢運転者の交通事故は、人身事故7,677件の18.2%を占めています。

各市町村別の高齢者の交通事故の発生状況は、下記の一覧表のとおりですので参考としてください。

市町村別・高齢運転免許保有者千人当たり第一当事者数

(平成24年9月30日現在)

順位	市町村名	第 一 当 事 者 数	高 齢 運 転 免 許 保 有 者	高 齢 運 転 免 許 保 有 者 千 人 当 たり
1	川南町	33	2,548	12.95
2	門川町	31	2,628	11.80
3	新富町	27	2,686	10.05
4	宮崎市	483	48,224	10.02
5	三股町	33	3,521	9.37
6	都農町	17	1,833	9.27
7	木城町	8	878	9.11
8	都城市	222	25,684	8.64
9	高鍋町	26	3,157	8.24
10	日之影町	7	854	8.20
11	延岡市	144	17,773	8.10
12	西都市	42	5,438	7.72
13	日向市	63	8,231	7.65
14	えびの市	33	4,502	7.33
15	小林市	62	8,474	7.32
16	高千穂町	14	2,159	6.48
17	美郷町	8	1,379	5.80
18	国富町	19	3,428	5.54
19	高原町	10	2,066	4.84
20	日南市	43	8,964	4.80
21	椎葉村	2	453	4.42
22	串間市	16	3,830	4.18
23	西米良村	1	266	3.76
24	綾町	4	1,228	3.26
25	諸塚村	1	346	2.89
26	五ヶ瀬町	1	705	1.42
	県外居住者	48		
	合計	1,398	161,255	

※「第1当事者」とは、交通事故の主たる原因者をいいます

2 高齢運転者の交通事故の特徴(平成24年9月末現在)

時間別・通行目的別

- 10時～12時の事故が最も多い。
278件(19.9%)
- 買物・訪問時の事故が最も多い。
630件(45.1%)

事故の形態

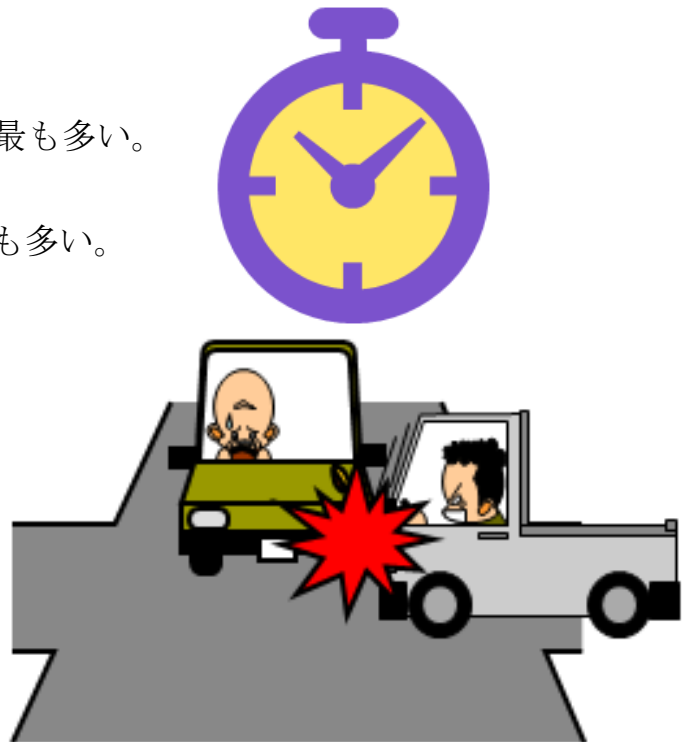
- 出合頭事故が最も多い。
468件(33.5%)

道路別

- 市町村道が最も多い。
630件(45.1%)

事故の原因別

- 安全不確認が最も多い。
480件(34.3%)



交差点は危険！安全確認を

3 高齢者死亡事故の特徴(平成24年11月8日現在)

全死者40人中24人(60.0%)が高齢者
(昼間16人、夜間8人)

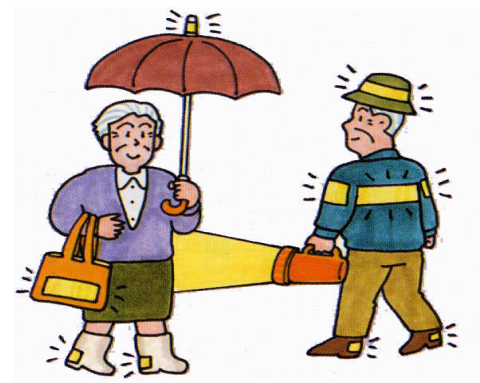
状態別死者数

◎ 歩行中の死者が5割の12人。

- ・歩行中の死者は、昼間6人、夜間6人。
- ・道路横断中の死者が10人。
(夜間6人・昼間4人)
- ・夜間の死者6人は、反射材の着用は無し。
- ・自宅から500m以内の場所で9人が死亡。

時間別

- 夕方(午後5時から午後7時)の死者が最も多い。
7人(29.2%)



歩行者もルールを守って楽しい外出を

市町村、関係機関・団体へのお願い

〈市 町 村〉

- 広報車や防災無線等による広報活動の強化
- 各種会議・会合等における高齢者事故抑止の呼びかけ
- 市町村職員による反射材の着用及び声かけの実施

〈関係機関・団体〉

- 明るい服装・反射材の着用推進
- 薄暮時の街頭活動の強化
- 高齢者への「声かけ運動」の実施

夕暮れ時の 「早めの点灯」・「ピカピカ」運動～推進中

目 的

例年、秋口以降、夜間、特に夕暮れ時に重大な交通事故が多発する傾向にあることから、早めのライトの点灯と反射材の積極的な活用を推進し、交通事故防止を図ります。

第2 期 間

平成24年9月21日(金)～平成25年1月31日(木)

第3 運動の重点

- 1 ライトの「早めの点灯」・「こまめな切り替え」の励行
- 2 反射材の活用と明るい色の服装の着用徹底



交通事故のない笑顔あふれる元気な街に